

施策名：感染症・伝染病対策の確立

事業名	担当課・室名	ページ
新型コロナウイルス感染症療養体制確保事業	医療政策課	1 / 2
感染対応力強化推進事業	感染症対策課	1 / 2
結核地域医療体制強化事業	感染症対策課	1 / 2
家畜伝染病緊急防疫体制整備事業	畜産振興課	2 / 2

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-8-(4)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針
1	<b>新型コロナウイルス感染症療養体制確保事業</b> ( R3 ~ R5 ) 医療政策課	①入院病床の確保 陽性患者及び疑い患者の入院受入病床を確保する医療機関への助成 ②宿泊療養施設の確保 無症状や軽症の感染症患者が療養する宿泊療養施設の確保・運営 ③入院患者受入れ医療機関の設備整備 陽性患者受入れに必要な医療設備の整備への助成 ④疑い患者受入れ体制確保事業 疑い患者を受け入れる救急医療機関等で使用する個人防護具の購入や消毒に要する経費等への助成 ⑤感染症患者の病室等清掃に対する支援 感染症患者が入院する病室等の清掃委託に要する経費への助成	感染状況や、R6.5の5類移行、R5.10の病床確保の重点化、R6.4の完全移行など制度変更に合わせて、下記のとおり取り組み、医療提供体制の確保、医療従事者の負担軽減を図った。 ①最大578床確保、10月の重点化後も感染状況に合わせて最大227床確保 ②最大1,370室確保、5類移行にあわせて運用を終了 ③⑤入院、発熱外来に対応する149機関に設備整備助成、4機関に対して清掃経費助成 ④28機関に対し、疑い患者の受入経費助成
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	
	5,507,346 (0)	4,277,692 (4,277,492)	

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ご と の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
2	<b>感染対応力強化推進事業</b> ( R4 ~ R6 ) 感染症対策課	①感染管理認定看護師の配置 感染管理力の強化のため、クラスター発生時に初動対応を行い早期収束を支援する感染管理認定看護師を非常勤職員として雇用 また、感染管理認定看護師を講師として、医療機関や社会福祉施設等を対象に感染症対応力の向上を目指したセミナーを開催 ②感染管理認定看護師資格取得に際しての代替看護師確保支援 民間医療機関が自施設の看護師に感染管理認定看護師の資格を取得させようとする際に配置する代替看護師の人件費の一部を助成 ・要件：研修修了後5年間、集団感染発生時等に県の要請を受けて初動対応に協力 ・対象：大分市及び別府市以外に所在する医療機関 ・補助率：1/2 ・上限額：200万円	① 5,745 ③ ② 4,000 ④	<b>代替看護師確保補助実績</b>	目標値	1	2	2	A
	医療機関等の感染症に対する対応力を強化するため、感染管理認定看護師による研修会やセミナーを開催するとともに、自施設の看護師に感染管理認定看護師の教育課程を受講させた医療機関が代替看護師を確保するために要する経費を助成する。	主な活動指標と達成率	[機関]	実績値	1	2	—		
	達成率	100.0%	100.0%	—					
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針					
	10,128 (0)	9,745 (0)		中津市と由布市の2医療機関が、代替看護師確保支援を利用することで、感染管理認定看護師の資格取得のために、看護師を研修派遣することができた。 今後も引き続き、感染管理認定看護師の少ない地域の医療機関に対し、代替看護師確保支援を行い資格取得を促進することで、感染管理認定看護師の地域偏在の解消を図り、県全体の感染管理力の強化を進める。					

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ご と の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
3	<b>結核地域医療体制強化事業</b> ( R2 ~ ) 感染症対策課	①結核診療支援センター長派遣 結核診療支援センター長となる医師の派遣等を大分大学医学部に委託 ②結核診療支援センター設置 結核患者収容モデル病床、第二種感染症指定医療機関、地域の医療機関への診療支援及び連携強化のため、結核拠点病院である西別府病院にセンター業務を委託	① 12,446 ③ ② 8,018 ④	<b>結核拠点病院入院勧告患者の入院期間中央値</b>	目標値	—	80	75	A
	結核のまん延を防止し、結核罹患率を低下させるため、結核拠点病院に設置している結核診療支援センターの設置継続と機能強化を行うことにより、県内における結核医療体制の充実を図る。	主な活動指標と達成率	[日]	実績値	—	77	—		
	達成率	—	103.8%	—					
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針					
	20,464 (0)	20,464 (0)		結核拠点病院入院勧告患者については、入院期間中央値が77日で目標を達成できた。 今後も引き続き、結核診療支援センターを活用し、地域医療機関等を対象とした研修を実施することで、地域の医療機関における診断や治療の質の向上を図る。また、退院支援カンファレンスや患者支援検討会などを実施し、西別府病院において、入院が長期化している患者等のスムーズな地域移行を進め、県内における結核医療の充実を図る。					

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-8-(4)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針					
4	<b>家畜伝染病緊急防疫体制整備事業</b> ( H23 ~ ) 畜産振興課	①発生農場の処分畜等の処理による封じ込め対策 死体等汚染物品の処理対策、初動防疫活動 ②消毒ポイント設置によるまん延防止対策 消毒ポイントの設置 ③県内家畜等飼養施設の清浄性維持対策 県内家畜等飼養施設の緊急消毒、発生状況調査 ④畜産経営安定対策 移動・搬出制限区域内の農家に対する支援	豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の本県への侵入防止のため、海港に消毒マットを設置し、車両のタイヤ及び靴底の消毒を行った。さらに、養鶏農場に対して、10月及び1月に消石灰を配布し消毒の徹底を図った。また、9月に大分県が豚熱のワクチン接種対象地域に指定されたことから、全養豚農場においてワクチン接種を開始するとともに検査体制を整備した。 今後も高病原性鳥インフルエンザ、豚熱等の発生が危惧されることから、発生に備え引き続き事業を継続し、家畜伝染病のまん延防止に努める。					
	口蹄疫や豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の早期封じ込めと、まん延防止措置を迅速に行うための対策を講じる。	○高病原性鳥インフルエンザ：令和6年3月31日時点で国内で10例発生。県内での発生なし（令和5-6年シーズン） ○豚熱：飼養豚では平成30年以降、90例発生（令和6年3月31日時点）。野生いのししでは35都府県で感染事例を確認。（令和6年3月31日時点） 【県内への病原体侵入防止】 空港及び海港（5港、7路線）への消毒マットの設置、県内養鶏農場へ消石灰配布：2回						
	<table border="1"> <tr> <td>予算額 (うち翌年度繰越額)</td> <td>決算額 (うち国庫支出金)</td> </tr> <tr> <td>500,000</td> <td>86,652</td> </tr> <tr> <td>(0)</td> <td>(15,494)</td> </tr> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	500,000	86,652	(0)	(15,494)	
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)							
500,000	86,652							
(0)	(15,494)							